

この豊かな自然環境を、みんなで守っていきましょう



相良海岸に上陸したアカウミガメ

**海岸のこと、ウミガメのこと、もっと知って欲しい**  
 地元に住んでいながら、海岸浸食の問題やアカウミガメのことを知らない人が、たくさんいます。しかし、こうした海岸清掃活動への参加をきっかけに、海やウミガメに興味を持ってくれる人は少しずつ増えています。今後は活動の輪を全国に広げて、ウミガメの保護や海岸の保全活動をしっかりと次世代につなげていきたいです。



カメハメハ王国 女王(代表) 渡邊美穂子さん



ビーチコーミングに熱中する子どもたち

**世代を越えてふれあえる、あったかいプロジェクト**  
 サークル活動を通じてさまざまなボランティア活動に参加していますが、今日は幅広い世代の人と触れ合うことができ、清掃活動後に行われたピッチコーミングも含めて、参加した子どもたちは喜んでいました。とても良い思い出になりました。地元の海の豊かさ、大切さを改めて実感することができました。



常葉大学ボランティアサークル「ThunderBirds」 原岡里穂さん(左)・松本 南さん(右)

ウミガメから学ぶ、自然の大切さと私たちの使命



静波海岸を視察するウミガメ会議の参加者

**ウミガメと自然環境についてみんなで考える**  
 昨年11月22日から24日までの3日間、カメハメハ王国の働き掛けによって、日本各地の砂浜でウミガメの調査や研究に携わっている人たちが一堂に会する「第24回日本ウミガメ会議」が、市内で開催されました。  
 会議では、海外から招いた研究者による講演や侵食の進む砂浜をテーマとしたシンポジウム、最新の研究成果の報告などが行われました。また、市内の小中学校では、ウミガメや自然環境についての出前講座が開かれました。  
 ウミガメを通じて、海や自然の大切さを学び、美しい海や砂浜を守っていきましょう。



ウミガメについて学ぶ小学生たち



ウミガメや自然環境のことを考える



アカウミガメが訪れる 美しい海岸をこの手で

AQUA SOCIAL FES!! 2014  
 ~相良海岸の砂浜保護プロジェクト~



牧之原市の遠浅で緩やかな海岸には、毎年5月から8月末にかけて、多くのアカウミガメが産卵のために上陸します。  
 しかし近年、砂浜に漂着するゴミや海岸浸食など、アカウミガメを取り巻く環境は悪化の一途をたどっています。今回、アカウミガメが安全に産卵できるように、地域で18年間、アカウミガメの保護や海岸の保全活動に取り組んでいる「カメハメハ王国」の主催で、大規模な海岸清掃が行われました。  
 汗ばむほどの陽気となった5月24日、会場の相良海岸には、親子や大学生、協力企業の社員など、約1500人が集まりました。  
 カメハメハ王国執事の山本明男さんがアカウミガメの生態を説明した後、参加者は清掃活動を始めました。  
 約1時間の清掃活動で、ペットボトルやビニール袋、古タイヤや木片など、たくさんのゴミが集まりました。  
 短い時間でしたが、みんなで協力し合い、アカウミガメが訪れる美しい海岸を取り戻すことができました。

